

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 総務区政課		重点項目 ・局の総括 ・市民に身近な区役所が、地域の特色やニーズを踏まえた事業を行い、まちづくりを推進する。 ・区行政の拠点である区役所・出張所施設の維持・改善を図る。						
	課長名	丸山 保		令和2年度当初予算額(A)	1,263,638 千円	目安の金額	課長	1 人	
				令和元年度当初予算額(B)	1,251,544 千円		人件費	係長	2 人
				増減額(A-B)	12,094 千円			職員	7 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1		○		<新>小倉南区役所庁舎老朽化対策事業	小倉南区役所庁舎における老朽化した設備等の改修等を実施する。	—		41,500	41,500
2		○		<新>区役所自家発電設備整備事業	災害拠点となる区役所の機能保持を図るため、自家発電設備を整備する。	—		27,000	27,000
3		○		<新>区役所公用車リース化(若松区役所)	若松区役所で使用する公用車のリース経費	—		3,500	3,500
4		○		<新>総合コールセンター運営事業	通信回線使用料等、コールセンター運営に係る経費	—		5,000	5,000
5				区行政推進事業(投資)			19,543	17,980	-1,563
6				区行政推進事業(行政)	市民にとって身近な存在である区役所が、地域のニーズや特色を踏まえた事業を行うことにより、まちづくりを推進する。		139,417	128,260	-11,157
7		○		区行政推進事業の拡充			500		-500
8				区行政総合調整費	区行政全般に係る施策などを推進するため調査等を行う。	多様化する市民ニーズに対応した施策の実現のため、関係局と連携し、地域の特色や実情に応じた事業を展開する。事業の実施にあたっては、市民太陽光発電収入等の特別財源を活用する。	762	686	-76
9		○		<新> 若松の記憶保存事業～石炭と蒸気機関車～(市民太陽光発電特会市民還元事業)	石炭輸送のまちとして隆盛を極め、日本の近代化を支えた若松の歴史を後世に伝えていくため、区民や学識経験者等と協働し、「石炭」や「蒸気機関車」といった若松区民が保有する記憶の保存記録化事業に取り組み、シビックプライドの醸成、次の世代への記憶の継承を図る。		2,500	2,500	
10		○		<新>全国神楽まつりin折尾(市民太陽光発電特会市民還元事業)	折尾神楽保存会が2020年で設立50周年を迎えるのを機に、「神楽という日本古来の伝統芸能の歴史と文化を次世代へ継承」、「折尾神楽の市内外でのさらなる認知度向上」、「折尾神楽のあるまち」としてシビックプライドの醸成を図ることを目的とした事業を行う。		2,500	2,500	
11		○		小倉祇園太鼓400周年記念事業(市民太陽光還元事業)	令和元年に小倉祇園太鼓は400周年を迎えたが、この機会を活かし、「小倉祇園太鼓400周年記念事業」を実施し、歴史と伝統を継承することの意義を見つめなおすとともに、市内外に広くPRする。	—	4,000		-4,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12			○	小倉南区政45周年記念事業「魅力発信！小倉南区」(市民太陽光還元事業)	小倉南区制45周年を記念し、小倉南区の特色を活かしながら、区民の主体的な参加のもと、区の魅力を見つめ、気づき、発信することで、子どもたちの郷土への理解を深めながら広く区民のシビックプライドの醸成を図る。	—	1,000		-1,000
13			○	ドライブガイド「わかmap」製作事業(市民太陽光還元事業)	若戸大橋・若戸トンネルの無料化(平成30年12月1日から)は若松区へ訪れる方を増加させる絶好の機会である。その受け皿づくりやおもてなしの1つとして、ドライブガイドを作成し、利用してもらうことにより、若松を満喫してもらうとともにリピーターの増加を目指す。	—	500		-500
14			○	黒崎まちなか公園・黒崎まちなかオレンジカフェプロジェクト(市民太陽光還元事業)	乳幼児期の子どもとその保護者、認知症や介護予防に関心のある高齢者やその家族をターゲットにしたイベントを、地域団体と連携して黒崎商店街の中で定期的実施していただくこと、平日の日中における黒崎商店街の人通りを増やすとともに、黒崎商店街への親しみと愛着を醸成する。	—	1,000		-1,000
15				出張所の機能強化	出張所に保健福祉相談員を配置し、区の保健福祉課と連携した保健・福祉サービスを提供する。	市民サービスの維持を図りながら、適切な配置体制を検討する。	13,893	3,500	-10,393
16				区役所・出張所改修事業	区役所・出張所庁舎の施設機能を維持していくため、施設改修等を実施する。		36,800	24,000	-12,800
17				区役所・出張所庁舎整備事業	区役所・出張所庁舎の維持補修等を実施する。	老朽化が進む区役所・出張所庁舎の機能維持のため、優先順位を付け、計画的に庁舎の整備を行う。	18,000	5,800	-12,200
18				区役所・出張所小規模保全事業	区役所・出張所庁舎の日常的な修繕等を実施する。		9,820	12,034	2,214
19				コムシティ老朽設備大規模改修工事	コムシティの設備改修等に係る経費	八幡西区役所が入居するコムシティの施設維持のため、優先順位を付け、計画的に整備を行う。	58,600	60,000	1,400
20			○	戸畑区役所西別館測量・調査業務	戸畑区役所西別館の測量等に要する経費	—	3,000		-3,000
21				小倉北区役所庁舎電気・機械等設備管理業務	小倉北区役所庁舎の電気・機械等設備管理業務の委託に要する経費	—	54,988	55,492	504
22			○	区役所光熱費(臨時)	時差出勤試行実施経費の区役所負担分	—	1,600		-1,600
23				区役所公用車リース化(小倉北区役所)	小倉北区役所で使用する公用車のリース経費	—	7,800	12,600	4,800
24				区役所公用車リース化(門司区役所・戸畑区役所)	門司区役所及び戸畑区役所で使用する公用車のリース経費	—	7,155	7,186	31

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
25				区役所公用車リース化 (八幡西区役所)	八幡西区役所で使用する公用車のリース経費	—	11,474	11,820	346
26				区役所公用車リース化 (小倉南区役所)	小倉南区役所で使用する公用車のリース経費	—	7,174	7,239	65
27				区役所公用車リース化 (若松区役所)	若松区役所で使用する公用車のリース経費	—	4,516	2,064	-2,452
28		○		庁舎一般管理(市文・総務区政課)(法律・条例)	区役所公用車の自動車重量税など、法定の経費	—	0		0
29				庁舎一般管理(市文・総務区政課)	区役所運営に係る経費	—	45,457	52,402	6,945
30				庁舎維持管理事務(公共)	区役所や出張所の維持管理に係る経費	—	559,886	560,764	878
31				区役所電話交換設備保守点検	区役所電話交換設備の保守点検に係る経費	—	7,600	7,260	-340
32				八幡西区役所来庁者に 係る市営駐車場使用料	八幡西区役所来庁者が利用する市営駐車場に係る経費	—	16,456	15,974	-482
33				コムシティ管理経費(公共)	コムシティの維持管理に係る経費	—	153,632	154,354	722
34				電話交換設備借入れ	区役所庁舎(小倉北区役所を除く)の電話交換機借入れに係る経費	—	12,188	12,188	0
35		○		コールセンター整備事業 (投資的経費)	コールセンター業務を行うための整備を行う。	—	25,300		-25,300
36		○		コールセンター整備事業 (行政)			6,500		-6,500
37				区役所電話内線網設備 保守点検	区役所内線網の設備保守点検に係る経費	—	2,420	2,376	-44
38				各種団体補助事業(市文・総務区政課)	小倉検察審査協会への活動助成	—	54	54	0
39		○		研究集会等参加(区役所・地域改善)	区役所職員の人権研修等各種研修参加に要する経費	—	530		-530
40				区交際費	地域行事の参加費等	—	4,300	4,300	0
41				総務課事務管理費	市民文化スポーツ局総務区政課の管理運営に関する経費	—	15,533	22,369	6,836
42		○		研究集会等参加費	局職員の人権研修等各種研修参加に要する経費	—	146		-146
43		○		<新>公用車リース経費 (市民文化スポーツ局保有車両)	自動車整備士の退職に伴い、市民文化スポーツ局所有の公用車をリース化する経費	—		936	936

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 戸籍住民課		重点項目	住民基本台帳、戸籍、住居表示等の区役所業務が確実かつ効率的に遂行できるように指導、改善、調整を行う。								
	課長名	土井 則己		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	1,435,404 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						令和元年度当初予算額(B)	453,573 千円		係長	2	人	
						増減額(A-B)	981,831 千円		職員	5	人	
				69,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				戸籍住民基本台帳事務	戸籍法、住民基本台帳法などにに基づき適正に事務を行う。	—	68,536	67,730	-806
2				住民登録促進月間 (ハローin北九州)事業	市内の大学等に住民登録の促進に向けた呼びかけを行う。	市内の大学等において住民異動の出張窓口を設置し、さらなる住民登録の促進を図る。	534	474	-60
3				市民課等「窓口受付呼出システム」更新事業	区役所市民課及び折尾・曾根出張所に設置している窓口受付呼出システムが老朽化したため更新を行うもの	—	9,708	9,708	0
4				市民課入力業務・窓口案内業務の委託化	区役所市民課及び総合案内において迅速・丁寧なサービスを行うため、フロアマネージャー及び異動届等の入力業務を委託する。	—	128,539	129,741	1,202
5				証明書発行用ファクシミリリース	証明書発行事務用のファクシミリをリース契約により市民課・出張所等に設置する。	—	4,382	2,567	-1,815
6				通知カード・個人番号カード関連事務の委任	社会保障・税番号制度の導入に伴い、通知カード及び個人番号カードに関連する事務を省令に基づき地方公共団体情報システム機構に委任する。	—	113,263	633,000	519,737
7				個人番号カード普及事業	個人番号カードの交付について、業務委託等を活用することによって、市民課業務を円滑に実施し、カードの普及に努める。	—	25,708	25,949	241
8				証明書コンビニ交付サービス事業	住民にとって身近なコンビニエンスストアで住民票等を取得できるコンビニ交付サービスの円滑な実施と維持管理に取り組む。	—	7,979	8,052	73
9				証明書コンビニ交付サービス維持管理事業		—	11,969	12,063	94
10		○		<新>戸籍証明書コンビニ交付サービス事業		現行取得できる住民票の写し及び印鑑登録証明書に加え、戸籍証明書を取得できるようにする。		38,600	38,600

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				システム関連一般管理費	全国の住民基本台帳システムをネットワークで繋ぎ、全国共通の本人確認が出来る仕組みを構築し、高度情報化社会に対応した住民のサービス向上や事務の効率化を図る。	—	47,811	48,993	1,182
12			住民基本台帳ネットワーク事業	—		3,009	3,036	27	
13			住基ネットCS端末等リース	—		774	586	-188	
14			住民記録システム住基ネット連携機能運用保守事業	—		12,057	11,065	-992	
15		○	<新>住基ネット統合端末等リース事業	—			489	489	
16		○	小倉駅南口再開発公益施設入居事業	小倉駅南口東地区市街地再開発事業により整備される再開発ビルの1階に、公益施設として小倉行政サービスコーナーが入居するため、整備を行うもの。	—	3,000		-3,000	
17			住居表示整備事業	住居表示未実施区域での住居表示及び実施済区域で街区等の形状が変わった場合の再整備を行う。	—	1,378	1,246	-132	
18			住居表示維持管理	街区表示板等の破損脱落等を調査して補修を行うとともに、現状に合わせた住居表示台帳の修正を行う。	—	6,458	5,812	-646	
19			小倉駅南口再開発公益施設入居事業	小倉行政サービスコーナー全体の管理費(設備点検・清掃等)を各入居者の占有面積に応じて負担する。	—	468	863	395	
20			個人番号カード取得促進事業	個人番号カードの普及促進のため、各区市民センター、市内大手企業等で申請補助を実施する。	大型商業施設でマイナンバーカードの出張申請補助窓口を実施する。	5,000	4,830	-170	
21		○	大字野面・大字木屋瀬地区住居表示整備事業	北九州市八幡西区大字木屋瀬及び大字野面地区について住居表示を実施する。	—	3,000		-3,000	
22		○	<新>戸籍法等改正に伴うシステム改修事業	戸籍住基事務に関する各法律の一部改正に伴い、個別システムの改修を行う。	—		74,000	74,000	
23		○	<新>マイナンバーカード交付円滑化事業	マイナンバーカード交付枚数の急激な増加に備え、各区役所市民課において実施しているマイナンバーカードの交付体制の強化を実施する。	—		334,000	334,000	
24		○	<新>交付用住基ネット統合端末等増設事業	マイナンバーカード交付枚数の急激な増加に備え、市民課等に設置している交付用住基ネット統合端末等の増設を行う。	—		11,400	11,400	
25		○	<新>システム基盤評価環境移設事業	評価環境を利用している業務システムについて、評価環境の移行作業及び再セットアップを行う。	—		1,200	1,200	
26		○	<新>旧小倉行政サービスコーナー原状回復事業	令和元年9月に移転した旧小倉行政サービスコーナーの原状復帰を行う。	—		10,000	10,000	

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 区政事務センター		重点項目	法令に基づく住民基本台帳事務、戸籍事務等を適切に行うとともに、区役所窓口ワンストップサービスの円滑な運営に資するよう迅速な事務処理を行う。						
課長名	青木 仁美	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	5,189 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和元年度当初予算額(B)	5,189 千円		係長	3	人	
				増減額(A-B)	0 千円		職員	29	人	
							259,000 千円			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区政事務センター一般管理費	区政事務センターの管理運営に係る経費	—	5,189	5,189	0

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 地域振興課		重点項目	住民主体の地域づくり・まちづくりに向けて、地域団体の活動を支援するとともに、活動拠点となる市民センターの充実を図る。					
課長名	鎌田 靖雄	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	3,286,693 千円	人件費	目安の金額	課長	2 人
				令和元年度当初予算額(B)	2,909,489 千円		係長	3 人	
				増減額(A-B)	377,204 千円		職員	8 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			戦時資料展示コーナー管理運営事業	市民から寄贈された戦時下の資料を展示することで、多くの市民に戦争がもたらした惨禍を伝え、平和の尊さの理解を図る。	平和の尊さへの理解促進を目的として、多くの方に来館していただくため、チラシの配布拠点を増やすなど、広報に努める。	1,329	1,373	44
2	○			地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組について、引き続き補助金を交付する。	239,916	250,000	10,084
3	○			公民館類似施設等設置事業(地域総括補助金)	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、公民館類似施設の維持補修等を支援するため、引き続き補助金を交付する。	3,232	2,973	-259
4	○			防犯灯設置補助事業(地域総括補助金)	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、防犯灯の設置を補助することで安全安心なまちづくりを実現するため、引き続き補助金を交付する。	74,260	68,319	-5,941
5	○			地域コミュニティ活性化推進事業	地域が一体となった地域づくりを促進するため、自治会をはじめとした地域の団体に対して地域コミュニティ活性化のための支援を行う。	地域活動の参加者増加に向けた取組を支援するため、まちづくり専門家派遣等を行うとともに、自治会加入促進に向けた取り組みを支援する。	28,614	26,195	-2,419
6			○	地域づくり促進事業	自治会の加入促進や地域活動の魅力を発信する取り組みを行うことで、自治会・町内会を含む地域コミュニティを活性化し、地域づくりを促進する。	令和2年度より、No5「地域コミュニティ活性化推進事業」に統合。	4,000		-4,000
7	○	○		<新>魅力ある新たな自治会加入促進事業	地域コミュニティや地域活動の中心的な担い手である自治会の加入促進を支援すると共に、市民センターの地域づくりの拠点としての機能を一層強化し、次世代の地域の担い手を幅広く確保することで、新たな地域・人づくりに関わる人材のネットワーク化に取り組む。	自治会の加入促進を行うとともに地域のネットワークを構築する取り組みの支援等を行う。		4,000	4,000
8				市政連絡事務委託	自治組織と配布委託契約を締結し、市が発行する市民への周知文書を各世帯に配布する。	地域の負担軽減を目的に市からの依頼業務の見直し検討を行いながら、引き続き事務を委託する。	300,220	309,000	8,780
9	○			市民センター管理運営・整備事業	市民(サブ)センター136館の管理運営・整備を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うとともに、施設・設備の老朽化等に対応し計画的に改修を進めるなど、機能の向上を図る。	1,896,078	1,994,506	98,428

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10	○			市民センターAEDリース事業(債務負担) (平成29年度～令和4年度)	市民センターに設置しているAEDのリース契約に係る経費 (平成29年度～令和4年度)	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うために、利用客に安心して施設を利用してもらえるよう、AEDの設置を継続する。	2,838	2,864	26
11	○			市民センター管理運営事業(債務負担)	市民センターの事務用パソコン及びプリンターのリース契約に係る経費(平成29年度～令和4年度)	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うために、円滑に事務を行えるよう、パソコン及びプリンターの設置を継続する。	8,071	8,145	74
12	○			市民センター整備事業	地域活動の拠点施設としての機能の維持・向上を図るため、老朽化対策、バリアフリー化等を計画的に行う。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うとともに、施設・設備の老朽化等に対応し計画的に改修を進めるなど、機能の向上を図る。	346,022	614,707	268,685
13				つどいの家設置等補助事業	住民が相互の交流を深める場である集会所(つどいの家)の設置・改修に対し補助金を交付する。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、住民により身近な集会所施設の確保を支援する。	3,861	3,563	-298
14				地域振興課一般管理費	課の管理運営に係る経費	—	1,048	1,048	0

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 市民活動推進課		重点項目	NPO・市民活動の促進及び協働の推進を図る。			
	課長名	藤田 和恵		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	58,097 千円
						令和元年度当初予算額(B)	52,815 千円
						増減額(A-B)	5,282 千円
		人件費	目安の金額	課長 0.5 人	係長 1 人	職員 4 人	
				45,750 千円			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			NPO・市民活動促進事業	NPO・市民活動に関する、相談・助言・情報提供など、活動の側面的な支援を行う。	市民活動の裾野を広げるために市民活動を担う団体の育成及び新たな人材の掘り起こし等が必要となるため、NPOの入門講座や講演会を引き続き実施するとともに、NPOの運営力を向上させる取組を実施し、NPO団体の組織・運営の基盤強化を図る。	17,959	17,379	-580
2	○		市民活動サポートセンター施設管理費(公共)	市民活動サポートセンターの管理運営に係る経費	2,791		2,797	6	
3			市民活動保険	市民が安心して市民活動に参加できるよう市が保険料を負担し、一定の補償を行う保険制度を実施する。	6,000		6,000	0	
4		○	<新>市民活動保険(拡充)	市民が安心して市民活動に参加できるよう市が保険料を負担し、一定の補償を行う保険制度を実施する。			3,000	3,000	
5			まちづくりステップアップ事業	市民が主体的に取り組む地域の特性を活かした活動に対して、補助金を交付する。	NPOへの資金的な支援を継続して実施し、市民活動の促進を図る。	5,321	4,821	-500	
6	○		NPO公益活動支援事業	NPO等が専門性を発揮して行う取り組みに対して、補助金を交付する。		3,212	2,712	-500	
7	○		多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	協働意識向上のための研修、セミナー等の充実に努めるとともに、多様な主体による市民活動の輪をさらに広げるため、交流会の開催や新たにコーディネート役を設けることにより、マッチングの強化を図る。	1,323	1,570	247	
8	○		「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	協働に関わる人材育成を目的とした研修を実施する。		1,491	1,291	-200	
9			旧古河鉱業若松ビル管理運営事業(指定管理)	旧古河鉱業若松ビルの指定管理経費	—	8,171	7,948	-223	
10			旧古河鉱業若松ビル管理運営事業(公共)	旧古河鉱業若松ビルの修繕費	—	395	549	154	
11		○	<新>旧古河鉱業若松ビル適正管理事業	旧古河若松鉱業ビルの全面打診調査	—		900	900	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				旧庄司小学校維持管理 事業(公共)	旧庄司小学校の維持管理費	—	1,136	1,157	21
13				旧庄司小学校安全対策 事業	旧庄司小学校の建物及び工作物の解体工事の実施設計及び支 障樹木の枝等の剪定と藤棚の撤去	—	3,855	7,800	3,945
14				車両更新事業	公用車のリース経費	—	161	136	-25
15		○		<新>車両更新事業(市 民活動推進課)	公用車のリース経費	—		37	37
16			○	NPO団体基盤強化事業	NPOの活動を市民等が体験し交流できる場を提供する。	—	1,000		-1,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 生涯学習課		重点項目	・学んだ人材を活動につなげる「循環型生涯学習社会」づくりの推進 ・多様な主体が協働して学習機会を提供する「ネットワーク型生涯学習社会」づくりの推進			
	課長名	佐藤 健治		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	49,379 千円
						令和元年度当初予算額(B)	152,766 千円
						増減額(A-B)	-103,387 千円
		人件費	目安の金額	課長	1	人	
			61,500 千円	係長	2	人	
			職員	4	人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				関係団体補助金	北九州市社会教育関係団体の会員が、その自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、社会教育関係団体が積極的に活動することを目的とし、別に定められた団体の事業(機関紙発行、研究会参加、研修会開催)の実施に係る費用の一部に補助金を交付するもの。交付対象事業は、婦人教育関係	会員の高齢化により、会員数は年々減少している。人材の育成に努め、補助金については、会員数に応じた補助金の額を今後検討していく必要がある。	800	800	0
2				北九州市婦人団体協議会委託事業	地域や団体のリーダーとして女性が活動するにあたり、必要な知識を得るとともに社会参画の意識を高めることを目的とした、婦人団体の指導者研究会を年1回開催している。また、団体の情報発信を行い団体の相互理解を深めるとともに、ネットワークを広げることを目的として発行する広報紙の作成に必要な技法を習得するための広報研修会の運営を委託して実施する。	地域活動や団体活動に必要なリーダーが不足しており、また、婦人団体の活動に参画する人材も不足している。地域や団体が行う様々な活動に参画する人材及びリーダーとして活動を牽引する人材を継続して育成する必要があるため、指導者研究会や広報研修会を実施する。	700	700	0
3				各種委員会(社会教育委員)	社会教育の各分野の専門家を社会教育委員に委嘱・任命し、委員は教育委員会に対し、社会教育に関して助言を行う。このため、定時又は臨時に会議を開き、社会教育行政や生涯学習の推進について議論を行う。	今任期(令和元年8月29日～令和3年8月28日)においては、現行の生涯学習推進計画が平成28年度から令和2年度であるため次期生涯学習推進計画の立案を行い、計画策定後は特定のテーマを設け意見交換を行う。	796	826	30
4				公民館類似施設設置費等補助金	公益法人や町内会等の地域が設置する公民館類似施設に対し、設置、改修(エアコン設置を含む)、及び運営の助成を行うため、補助金を交付する。	予算の範囲内での効果的・効率的な支援を継続していくとともに、各公民館類似施設への補助交付額の見直しを含めた、より効果的・効率的な支援策を引き続き検討する。	5,076	4,670	-406
5				公民館類似施設運営費等補助金			3,970	3,685	-285
6				生涯学習管理運営費	社会教育関係研修参加費、生涯学習課、区コミュニティ支援課における生涯学習活動推進のための一般管理経費	—	5,286	5,286	0
7	○			家庭・地域・学校パートナーシップ事業	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。	子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化しているため、家庭教育学級を継続・充実していく。また、子育てサポーター養成後、実際の活動につながるよう、市民センターの子育てサポーターが活躍できる講座の開講や、子育てサポーターへの助言や関係機関や各種団体とのネットワーク化を図る役割を担う子育てサポーターリーダーの養成に努める。	6,282	5,925	-357

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8	○			生涯学習活動促進事業	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	地域の課題解決につながるような講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、生涯学習を通じて地域活動に参画する人材の育成を図る。	13,627	13,574	-53
9	○			生涯学習推進コーディネーター配置事業	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センター及び生涯学習総合センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを市民センター館長に社会教育主事等が助言しながら、全館配置に向け取り組む。また、配置されたコーディネーターが定着するよう研修等を通じて館長に生涯学習推進コーディネーターの意義・目的を理解してもらい活動しやすい環境を整える。	9,133	7,316	-1,817
10		○		民間教育事業者(カルチャーセンター等)との生涯学習ネットワーク構築事業	ネットワーク構築のための協議会設置、開催	—	386		-386
11				公用車リース(区コミュニティ支援課)	八幡東区コミュニティ支援課生涯学習係が使用する公用軽自動車のリースに係る経費	—	198	196	-2
12	○			地域課題解決のための人材活用支援事業	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活動までを体系的に支援し、地域力アップにつなげる仕組みをつくる。 (1)学んだ成果を地域に活かす講座の開催 (2)地域活動をリードする人材育成事業 (3)「北九州”学びと活動の環”推進ネットワーク」の会合	当該事業に「民間教育事業者(カルチャーセンター等)との生涯学習ネットワーク構築事業」と「地域づくりマネジメント研修事業」を統合し、地域課題の解決に向け、学びと活動の循環する仕組みづくり、研修等での人材育成、多様な機関との連携を進めるなど、多方面から事業を実施する。	670	901	231
13		○		地域づくりマネジメント研修事業	地域活動をリードする地域人材(市民センター職員、まちづくり協議会会長・役員、生涯学習推進コーディネーター等)に対し、求められる資質や能力を向上させる研修を行い、地域づくりをマネジメントする人材を育成する。地域において、地域課題を主体的に考える人材を増やすことで生涯学習活動の推進、地域活動の活性化に向けた、地域全体への意識付けを目指す。	—	242		-242
14		○		八幡西生涯学習総合センター折尾分館移転事業	八幡西生涯学習総合センター折尾分館の移転先である八幡西勤労青少年ホームについて、利用者へのサービス低下を防ぐことを目的に、エレベーター設置工事および会議室の収容能力の向上のための改修工事(料理室、和室を会議室に転用)、老朽化した施設・設備等の補修工事を行うもの。	—	104,600		-104,600
15				「北九州市生涯学習推進計画」の次期計画の策定	現行計画の計画期間は、平成28年度～令和2年度の5年間となっている。次期計画策定にあたっては、令和3年度から新たな計画期間を円滑に進めるため、令和元年度から次期計画の検討会議を立ち上げ、現行計画の課題、地域にある様々な課題、国の動向等について議論を深め、次期計画に新たな視点や生涯学習事業の見直しを図る。	令和元年度から次期計画の検討会議を立ち上げ、現行計画の課題、地域にある様々な課題、国の動向等について議論を深め、次期計画に新たな視点や生涯学習事業の見直しを図る。 令和2年度はパブリックコメントを実施し、次期計画を策定する。	1,000	1,500	500

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
16		○		<新>門司生涯学習センターの塀の構造調査	門司生涯学習センターの塀(下部:昭和初期設置、上部:昭和50年頃設置)について、平成30年6月に実施された建築都市局によるブロック塀の調査により、当該塀の危険性を指摘されたことを受け、今後の対応策を検討するため、当該塀の構造調査を行う。	非常に危険な状態のため、速やかな対応策の検討を図ることを目的に、専門的知識や経験を有する部署に協力を要請した。		3,000	3,000
17		○		<新>指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会開催事業	社会教育・生涯学習の推進を図るため毎年持ち回りで開催されている「指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会」を本市で開催する。	—		1,000	1,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 生涯学習総合センター 管理運営課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> 市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・調査研究・情報発信・学習相談等の機能をさらに集約・強化する。 また、市民の学習活動の場として一層の利用促進を図る。 安全・安心な生涯学習の場を提供する。 							
課長名	黒野 まゆみ	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	334,250 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人	
				令和元年度当初予算額(B)	241,206 千円				係長	2	人
				増減額(A-B)	93,044 千円			61,500 千円	職員	4	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			生涯学習総合センター事業	生涯学習情報の提供、人材育成、生涯学習支援、高度な学習ニーズに応える講座の実施などにより、生涯学習社会の実現を目指す。	厳しい予算状況の中、事業の質を確保しながら、多様化する課題の把握に努める。また、地域課題の解決につながる人材育成を図る。	4,880	4,584	-296
2				生涯学習センター改修事業	生涯学習センターの老朽化対策及び施設の健全安全や利便性の向上を図るため、改善・保全を行う。	生涯学習センターの多くは昭和50年代から60年代前半に建築された施設であり、老朽化が年々進行し補修・改修を要する箇所が数多くあることから、予算額を増額した。	4,461	4,588	127
3				生涯学習センター管理運営費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の管理運営にかかる経費	—	2,233	6,669	4,436
4				生涯学習センター維持管理費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の維持管理にかかる経費	—	204,897	205,518	621
5				コミュニティ管理経費(八幡西生涯学習総合センター)	八幡西生涯学習総合センターのコミュニティ管理経費の負担分	—	17,619	17,991	372
6				若松生涯学習センター大規模改修工事	築30年以上経過し、建物全体の劣化が顕著である若松市民会館との複合施設である若松生涯学習センターの抜本的な対応として、全館での改修工事を実施する。	事業費総額を10億円未満に抑えるため、工事範囲の縮小を図ることとした。(具体的な工事範囲は実施設計の中で検討)	2,740	6,400	3,660
7	○			<新>若松生涯学習センター大規模改修工事(工事分)				87,600	87,600
8		○		八幡西生涯学習総合センター折尾分館設備維持経費(増加分)	八幡西生涯学習総合センター折尾分館設備維持経費		—	4,376	-4,376
9	○			<新>低濃度PCB含有機器等処理	保管中の低濃度PCB廃棄物の処理、及び、低濃度のPCBを含有している可能性のある使用中機器の濃度分析・処理を行うための費用	「北九州市ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画」において処理完了目標とされている令和4年3月31日までに確実に処理できるよう、新規に事業化することとした。		900	900

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 八幡西生涯学習総合センター		重点項目	・市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・情報発信・学習相談等の機能を強化するとともに、市民の学習の場として一層の利用促進を図る。 ・また、北九州ひとみらいプレイスの事務局として人づくり支援の充実等をめざす。			
	課長名	藤田 和恵		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	13,918 千円
						令和元年度当初予算額(B)	15,355 千円
						増減額(A-B)	-1,437 千円
		人件費	目安の金額	課長	1 人		
				係長	1 人		
				職員	3 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			八幡西生涯学習総合センター事業	市民カレッジ及びボランティア養成講座を実施する。	事業のクオリティを確保しながら、多様化する課題を的確に把握するとともに、関連施設と協働し、地域課題の解決につながる人材育成を図る。	2,085	2,085	0
2				北九州ひとみらいプレイス管理運営費	北九州ひとみらいプレイス及び八幡西生涯学習総合センターの管理運営にかかる経費	厳しい予算状況の中、委託業務の内容を見直す等、より効率的な運営を行う。	8,541	7,102	-1,439
3				北九州ひとみらいプレイス事業	本市の人づくり支援機能の新たな事業展開とともに、副都心黒崎のにぎわい創出にも取り組む。	気ままにセミナーやひとみらい交流ウィークの実施期間(回数)・内容等の変更、広報の効率化等を検討の上、予算の効率的配分を行い、引き続き人づくり支援の充実等を目指す。	4,543	4,543	0
4				公用車更新	八幡西生涯学習総合センター所管の公用軽自動車について、リース契約による使用料を支出する。	—	186	188	2

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文化企画課		重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する ・次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる ・文化芸術を生かした、ひとつづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む ・本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する 							
	課長名	横山 久		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	3,271,321 千円	人件費	目安の金額	課長	3 人
						令和元年度当初予算額(B)	2,641,684 千円		係長	11 人	
						増減額(A-B)	629,637 千円		職員	14 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文化振興管理運営費	文化企画課の管理運営に係る経費	—	11,844	10,660	-1,184
2	○			北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業 (旧・文化関連施設多言語化推進事業)	国の補助事業を活用し、八幡・東田地区において、いのちのたび博物館を中核として周辺施設が連携する文化クラスター(文化集積地)を構築し、文化を通じた地域の活性化や観光客の回遊性を高める取組を実施する。	大規模テーマパークの閉園の影響で来館者が減少する中、東アジア文化都市2020北九州のコア事業「ART for SDGs」が東田大通り公園を中心に開催されるのに合わせ、東田地区の文化施設が連携し、企画展の開催や回遊促進に取り組むことで、来場者の増加を目指す。	6,000	26,800	20,800
3				次期文化振興計画策定事業	平成22年12月に策定した「北九州市文化振興計画」について、令和2年度をもって終了することから、新たな計画を策定するもの。	現計画期間の見直しを検討する予定。	1,000	0	-1,000
4				市民文化表彰	本市の文化芸術活動において活躍し、その功績が極めて大きい個人・団体を讃えるため創設した表彰制度に関する経費	受賞者への副賞の内容について見直しを行った。	1,334	1,200	-134
5	○			北九州市文化振興基金	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金の運用益をもとに、市民の行う文化芸術活動等に対し助成を行う。	文化芸術に関する市民の自主的な活動をさらに活発化し、その内容がレベルアップするような効果的な支援を行っていく。また、ここ数年は運用益が大幅に減り、基金残高が減少している。ふるさと納税の運用の見直しについての総務省通知に基づき、寄附金(北九州かるかるファンド)事業の見直しを行う。	11,681	9,811	-1,870
6	○			北九州文学サロン管理運営事業	平成29年3月に開設の「北九州文学サロン」の管理運営を行い、施設の利用促進を図る様々な取り組みを実施しながら、「文学の街・北九州」を発信する。	音楽や絵画など、様々な文化芸術と文学をつなぎ、魅力ある企画、取組みの実施、情報発信が必要である。引き続き地元商店街や学生と連携し、様々な人が気軽に文学に接する取組みを進めていく。	11,000	11,000	0
7	○			芸術文化育成負担金・補助金	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を支援する。	35,350	35,350	0
8				門司港美術工芸研究所支援事業	門司港美術工芸研究所の活動支援に関する経費	企画内容や実施方法をより充実させ、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も継続していく。	10,000	10,000	0
9	○			芸術文化活性化事業 (旧・北九州劇場文化活性化事業)	【劇場・自主事業】 北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施する。 【響ホール・自主事業】	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していくために、効果的な事業実施に努めていく。	55,268	55,268	0
10	○			芸術文化活性化事業 (旧・響ホール事業)	室内楽専用ホールの特性を活かした質の高いコンサートや、響ホールを拠点とした地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。		53,300	52,400	-900

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11	○			北九州国際音楽祭	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、令和元年度で32回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	国際音楽祭はレベルの高い音楽イベントとして定着しており、企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の向上を目指す。	40,000	40,000	0
12	○			現代美術センター・CCA 北九州支援事業	現代美術の世界的な拠点の一つとなることを目指して活動している研究・学習機関であり、若手アーティストの指導育成、招聘アーティストによる新作発表会のための展覧会等を開催するとともに、その活動を広く市民に浸透させるための文化講座などの事業を行っている。これらの事業を実施しているCCA北九州を支援するもの。	フェロシッププログラムについては、引き続き一定レベルの受講生の確保を図りつつ、充実したプログラムを実施する。 また、事業については内容の見直しや経費削減等を更に進めつつ、市民対象の公開講座等による地域還元や、他事業との連携を通じて、市民へのCCA北九州のより一層の浸透に努める。	39,000	38,000	-1,000
13				芸術文化振興財団委託 事業	市民の多様な芸術文化ニーズに対応した事業を実施し、芸術文化の振興に寄与するために、北九州市芸術劇場指定管理や響ホール指定管理による事業を行う。	市の外郭団体を有効に活用し、計画的に事業を進める。実施にあたっては、経済性や効率性も考慮に入れた運営を行う。	81,118	83,327	2,209
14				芸術文化活性化事業(事業 安定化対策)	興業が中止となった場合などに生じる主催者負担を担保するため、留保付で予算を確保するもの。財団全体として資金ショートの際に生じた際に執行する。	—	50,000	50,000	0
15	○			「合唱の街づくり」推進事業	子供たちや若者を中心としたより多くの市民が合唱に親しみ、市民の歌声が響く「合唱の街づくり」を進めるため、市内外へ「合唱の街」をPRする。	様々な芸術に触れる・体験する機会を提供する事業を実施し、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図る。	5,144	1,200	-3,944
16	○			優れた文化・芸術との” 出会い”創造事業	通常の演奏会や公演の鑑賞ではなく、様々な形で子供たちが身近に文化芸術を体験することでその面白さを楽しめるようにする芸術体験プログラム(ワークショップ等)等を行い、文化芸術を楽しむことができる内容とすることで新たな担い手の育成に供する。また、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大するため、学校・地域等における教育普及活動(=アウトリーチ)やホール等の文化施設における文化・芸術活動を充実させる。	様々な芸術に触れる・体験する機会を提供する事業を実施し、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図る。	6,840	7,206	366
17				青少年のためのレク チャーコンサート開催事業	青少年に対して質の高い音楽を提供することを目的に、(公財)日本音楽財団の企画する音楽事業を開催する。	様々な芸術に触れる・体験する機会を提供する事業を実施し、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図る。	1,000	900	-100
18		○		公立ジュニアオーケストラ フェスティバル	北九州市ジュニアオーケストラを、全国7つの公立ジュニアオーケストラによる交流演奏会に派遣することで、ジュニアオーケストラ相互の交流を深めるとともに、本市の音楽文化の向上を図る。	—	3,000		-3,000
19		○		日露交歓コンサート	優れた文化芸術に触れる機会を提供することで子どもたちの音楽に関する知識や理解を深めるとともに、文化交流を通じて日露間の相互理解の促進を図る。	—	5,000		-5,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
20				松永文庫管理・運営経費	平成21年、松永武氏から市に寄贈された「松永文庫」を主体とし、現在では約45,000点に及ぶ映画・芸能資料の資料館である「松永文庫」を、市民や観光客も気軽に親しめる映画文化の振興の拠点として、また、「映画の街・北九州」という新しい都市ブランドの発信拠点として引き続き管理・運営する。	「映画の街・北九州」という都市ブランドのさらなる強化に向けた取組みを強力に推進する。日本批評家大賞等の受賞により、認知度・寄贈件数が上昇しているため、映画やテレビドラマを通じて、本市の魅力を国内外に発信するシンボル施設としての能力向上を進める。	1,335	1,202	-133
21			松永文庫管理・運営経費(公共)	松永文庫の維持管理に係る経費	5,308		5,308	0	
22	○		松永文庫企画事業	平成28年5月の日本映画批評家大賞特別賞の受賞により、全国的に注目が集まっていることから、企画展示と併せてクイイベント等を開催するとともに、増加している資料寄贈への対応及び運営体制の充実(備品の増設等)を図る。	9,600		9,600	0	
23			北九州メディア芸術創造拠点推進事業	本市に蓄積されたメディア芸術(漫画やアニメ、映画やポップカルチャー等)の芸術資源の魅力をさらに高めて本市のイメージアップを図るとともに、芸・産・学・官連携のもと、メディア芸術人材の育成及びメディア芸術産業の創出を目指し、国際発信力のあるメディア芸術拠点としてのブランディングを確立する。また、2020東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた国際発信を強化し、インバウンドの増加、活力ある豊かな地域社会を実現する。	これまで培ってきたメディア芸術資源(マンガを中心としたポップカルチャー等)を活用したまちづくりに取り組み、アジアMANGAサミットを開催した。2020オリパラおよび東アジア文化都市2020で世界的に注目を集める機会を活かして、国際的な文化芸術の拠点化を強力に推進する。		68,800	40,000	-28,800
24			海外作品等誘致・支援事業	平成27年度より本格的に開始した海外作品の誘致について、主要対象国であるタイや、本市の航空会社であるスターフライヤーが定期便を設定した台湾等について海外の映画・テレビドラマ作品の撮影誘致及び若者を受入れた文化研修を行うことにより、本市の魅力を海外に発信し、インバウンドを増加させる。	14,200	13,000	-1,200		
25	○		映像製作誘致強化事業	本市の都市イメージの向上と交流人口の拡大による地域経済活性化のため、国内外の映画・テレビドラマ・CMなどのロケーション撮影の誘致・支援を行う。	9,373	8,724	-649		
26	○		関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致支援事業	関門海峡を中心とした、ロケ地としての北九州市・下関市の魅力及び北九州市のアジア映画・ドラマ業界における人的ネットワーク等を活用し、国内外の映画・テレビドラマを誘致することで、関門地区の魅力を国内外に情報発信する。 また、海外現地にて誘致作品の出演者を活用したプレミアイベントを開催するなどして、ロケツーリズムによるインバウンドの増加を狙う。	映画やテレビドラマを通じて、本市の魅力を国内外に発信するため、引き続き、フィルム・コミッション活動を推進する。特に、アジアを中心としたインバウンドの獲得を見据え、海外作品の誘致に力を入れるなど、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドのさらなる確立に向けた取組みを強力に推進する。	18,000	15,500	-2,500	
27	○		みんなで創る「映画の街・北九州」ブランド発信事業	本市の都市ブランド「映画の街・北九州」のさらなる構築、発信のため、活動を支えてきたエキストラの登録数が1万人を超える事を記念し、市内の関係者等が相互に交流を深め、一体となって取り組むイベントを開催する。これに加え、北九州フィルム・コミッション支援作品のプロモーションを活用し、「映画の街」にふさわしいロケの足跡を残し、ロケツーリズムにつなげる。	5,000	5,000	0		
28			公用車リース経費(文化企画業務)	フィルム・コミッション業務にて使用する公用車のリース料を支出	176	177	1		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
29			○	平尾台保存管理事業(臨時A)	平尾台保存管理計画に基づき、指定地域内の民有地を学術的に価値の高い地域から順次購入している。 本事業は裁量事業の拡充分である。	No.30 平尾台保存管理事業(裁量A)に統合	50,000		-50,000
30				平尾台保存管理事業(裁量A)	平尾台保存管理計画に基づき、指定地域内の民有地を学術的に価値の高い地域から順次購入している。 なお、購入する地域については国・県と協議の上決定する。	地権者等からの要望も踏まえ、臨時事業分と合わせて事業の拡充を実施し、新たに制度化された地方債を活用して事業費を増額し、公有地化を推進する。	22,117	70,000	47,883
31				「関門海峡」日本遺産連携事業	平成29年4月に日本遺産に認定された「関門”ノスタルジック”海峡」のPR等各種取り組みを、北九州・下関両市及び民間委員による協議会で実施する。	文化庁や関係各位との協議及び相互調整を行うほか、日本遺産の魅力発信及び関門地域への誘客を進める。	3,320	2,500	-820
32			○	小倉祇園太鼓400周年記念・文化財普及啓発事業	小倉祇園太鼓が400周年を迎えるにあたり、文学館において歴史展(展示会)を開催するもの。	—	5,000		-5,000
33				寿命の唐戸(水門)保存修理事業	北九州市指定有形文化財(建造物)である寿命の唐戸(水門)について、老朽化等が判明したため、その保存活用のための保存作業等を実施するもの。	北九州市指定有形文化財(建造物)である寿命の唐戸(水門)について、区政要望などの地元要望を踏まえ、活用策を検討していたところ、文化財自体の老朽化等が判明したため、その保存活用を図る。	5,600	6,000	400
34				埋蔵文化財センター移転事業	現在小倉北区金田に所在する市立埋蔵文化財センター及びその他の収蔵庫を集約し移転するための関連事業	—	16,500	38,500	22,000
35				埋蔵文化財発掘調査受託	開発者から受託した発掘調査を(公財)北九州市芸術文化振興財団(埋蔵文化調査室)に委託している。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	51,121	56,120	4,999
36	○			文化財保存補助	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承する。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	1,082	1,127	45
37				芸術文化振興財団委託料(埋文調査室管理)	埋蔵文化財調査室の管理にかかる経費	発掘作業にかかる業務管理の委託料であるが、算定基礎となる人件費が上昇したため、委託料が増加したものの。	9,575	9,695	120
38				文化財管理保全	地域の歴史や文化を後世に残すとともに、郷土愛を育むため、文化財公開施設の一般公開など、長い歴史の中で生まれ今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財の保存・活用を行う。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	2,564	2,127	-437
39				文化財関連施設維持管理費(公共)	埋蔵文化財センター及び埋蔵文化財収蔵庫等の維持管理に係る経費	—	33,592	33,492	-100
40				埋文発掘調査(国庫補助)	学術調査、個人住宅建設に伴う発掘調査、または開発行為に先立つ遺跡の範囲の確認調査を国庫補助事業により実施する。	市民からの要請に応え、適正な文化財の保存・活用に努める。	25,866	25,866	0
41				埋文発掘調査(市費)	学芸員の資質向上のための講習会受講、発掘・整理器材等の経費等	—	1,674	1,674	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
42				文化財保存修理補助事業	指定文化財が老朽化し、保存・活用に支障をきたすため、所有者が主体となり補修を行うもの。	国や県、文化財所有者と協議を重ね、適正な文化財の保存を行っていく。予算の減少については、門司港駅の改修事業が終わったことによるもの。	62,200	4,400	-57,800
43				城野遺跡史跡広場整備事業	弥生時代後期から終末期にかけての拠点集落遺跡である城野遺跡を史跡広場として整備するもの。	—	30,000	2,500	-27,500
44		○		新埋蔵文化財センター基本計画策定事業	移転することとなった埋蔵文化財センターの基本計画を策定するもの。	—	8,000		-8,000
45				大手町練習場運営経費	大手町練習場の維持管理を行う。	税率改正に伴って必要となる額を計上した。	36,481	36,667	186
46				市民会館運営経費	市民会館(門司、若松)の維持管理を行う。	税率改正に伴って必要となる額を計上した。	127,570	127,470	-100
47				戸畑市民会館管理運営費	戸畑市民会館の維持管理を行う。	税率改正に伴って必要となる額を計上した。	114,058	115,104	1,046
48				北九州芸術劇場運営費	北九州芸術劇場の維持管理を行う。	税率改正に伴って必要となる額を計上した。	883,912	892,022	8,110
49				響ホール運営費	響ホールの維持管理を行う。	税率改正に伴って必要となる額を計上した。	127,479	128,335	856
50				旧百三十銀行ギャラリー運営経費	旧百三十銀行ギャラリーの維持管理を行う。	3年に1度の法定点検に係る経費を削減した。	6,292	6,183	-109
51				黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業(ホール)(債務A)	平成24年度にオープンした「黒崎ひびしんホール」の施設整備に係る対価分	契約時の支払計画に則り支出を行う。	118,895	118,983	88
52				黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業(ホール)(債務B)	「黒崎ひびしんホール」の施設維持管理・運営業務および芸術文化事業を行う。	税率改正に伴って必要となる額を計上した。	181,690	183,265	1,575
53				北九州芸術劇場改修工事実施事業	「北九州芸術劇場」のスムーズな施設運営を図るため、舞台設備等の予防保全的な修繕・改修を計画的に行う。	安全に運用する必要がある舞台装置などの優先度の高い設備の改修を計画的に行う。	27,000	163,000	136,000
54				八幡市民会館閉館関連事業	平成28年3月で閉館した八幡市民会館の機械警備等に係る経費	—	261	261	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
55				国際村交流センター改修 等工事	国際村交流センターの維持管理に必要な改修工事を行う。	経年劣化に伴う老朽化の著しい箇所や機能劣化したものについて、改修工事等を計画的 かつ早急に実施する。	8,301	7,637	-664
56				芸術文化施設改修工事	芸術文化施設の維持管理に必要な改修工事を行う。	経年劣化に伴う老朽化の著しい箇所や機能劣化したものについて、改修工事等を計画的 かつ早急に実施する。	13,703	14,771	1,068
57				芸術文化施設管理費	芸術文化施設の維持管理を行う。	経費の見直しを図った。	1,894	1,679	-215
58				芸術文化施設管理費(公 共)	芸術文化施設の維持管理を行う。	経費の見直しを図った。	2,684	3,110	426
59				リバーウォーク北九州管 理組合負担金(起債対 象)	区分所有するリバーウォーク北九州の維持管理(改修・修繕工 事)に必要な管理組合費を負担する。	管理組合にて、維持管理修繕実施計画の精査を行い、必要な工事を計画的に行う。	56,942	44,600	-12,342
60			リバーウォーク北九州管 理組合負担金	11,870			22,600	10,730	
61				若松市民会館大規模改 修工事(実施設計)	築30年以上経過し、建物全体の劣化が顕著である若松市民会 館について、大規模改修工事の実施設計を行う。	債務負担の2年目にあたり、初年度に残った設計業務を実施。	8,470	19,600	11,130
62				旧九州厚生年金会館改 修工事	旧九州厚生年金会館の改修工事を行うもの。	「旧九州厚生年金会館改修工事」に事業名変更。 PCB含有調査のための機器更新及び分析調査実施。また、建物全体の大規模改修の計 画を策定する。	26,300	18,000	-8,300
63		○		<新>若松市民会館大 規模改修工事	築30年以上経過し、建物全体の劣化が顕著である若松市民会 館について、大規模改修工事を実施するもの。	改修工事の実施により、建物の長寿命化を図る。		257,000	257,000
64		○		<新>響ホール・国際村 交流センター改修工事	開館26年を経過した響ホール・国際村交流センターについて、老 朽化が著しい施設・設備の改修を行う。	緊急度の高い設備改修を実施する。また、建物全体の大規模改修の計画を策定する。		56,000	56,000
65	○	○		<新>北九州国際音楽 祭【拡充】	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサ ートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年 を記念して始まり、2020年度で33回を数え、本市の秋を彩る催し 物として定着している。	「東アジア文化都市2020北九州」の開催を記念して、世界最高峰と称されるウィーン・フィ ルハーモニー管弦楽団を招聘し、優れたクラシック音楽に触れる機会を提供するとともに、 中学生を対象とした鑑賞教室(リハーサル公開)を実施する。		50,000	50,000
66		○		<新>北九州市ジュニア オーケストラ国際交流事 業	「東アジア文化都市2020北九州」関連事業の一環として、中国 の開催都市に北九州市ジュニアオーケストラを派遣し、青少年の 文化交流を図る。	文化による国際交流を通じて、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図 る。		21,100	21,100

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
67		○		<新>発信力の高い文化事業の支援(北九州シテリオペラ)	「東アジア文化都市2020北九州」にちなみ、中国を舞台としたブッチーニ作曲オペラ「トゥーランドット」の上演を予定。本公演は、北九州シテリオペラとイタリアのAクラスの歌劇場であるトリエステ市の「ヴェルディ歌劇場」との連携協定のもとで開催されるもので、公演の開催により、本市のオペラ文化のさらなるレベルアップに繋がるとともに、多くの市民に質の高い公演の鑑賞機会を提供するものである。	企画内容や実施方法をより充実させ、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も継続していく。		5,000	5,000
68		○		<新>小学生芸術鑑賞教室(日生劇場)開催事業	青少年に対して質の高い芸術文化の鑑賞の機会を提供することによりこれからの社会を支える児童・青少年の「豊かな情操」や「多様な価値観」を育む。	様々な芸術に触れる・体験する機会を提供する事業を実施し、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図る。		8,000	8,000
69	○	○		<新>芸術文化育成負担金・補助金	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。	東アジア文化都市2020北九州の実施にあたり、市内全体で開催機運を盛り上げるため、市民団体等が企画・実施する文化事業の一部を拡充する。		2,500	2,500
70		○		<新>門司港アートワーク事業	「東アジア文化都市2020北九州」にちなみ、アジアの多様なアートに触れる機会の提供やアートに関するフリーマーケットの開催等を通じて、本市の文化振興及び文化芸術の国際発信を図る。	民間団体と連携のもと、企画内容や実施方法の充実を図るとともに、経済性や効率性も意識しながら、市民が優れた文化芸術に触れることのできる魅力的で質の高い事業を実施する。		7,000	7,000
71		○		<新>秋のメディアアート事業	「東アジア文化都市2020北九州」の秋のコア期間事業の一つでもある「メディア芸術」分野をより一層盛り上げるため、文化庁「メディア芸術祭」をより一層盛り上げるため、若者や外国人にも関心の高いメディア芸術イベントを開催し、インバウンドや交流人口の増加を図る。	東アジア文化都市2020北九州や2020東京オリンピック・パラリンピックの開催という絶好の機会をとらえ、言語依存度が低く、来日外国人も感覚的に楽しめるイベントを実施する。		40,000	40,000
72		○		<新>物流拠点施設誘致のための埋蔵文化財発掘調査業務	長野・津田区画整理に伴う埋蔵文化財発掘調査を行うもの。	—		124,000	124,000
73		○		<新>旧サッポロビール九州工場文化財調査事業	旧サッポロビール九州工場の醸造棟の保存活用のため、文化財調査を行うもの。	—		10,000	10,000
74		○		<新>埋蔵文化財センター移転整備事業	市立埋蔵文化財センター移転に伴い、PPP/PFIの導入可能性について調査を実施する。	市立埋蔵文化財センター移転に伴い、民間活力を活用したPPP/PFIの導入の可能性を精査し、可能であれば、今後PPP/PFIの手法を導入し、経営の効率化を図る。		1,800	1,800

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 東アジア文化都市推進室		重点項目 ・北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する ・文化芸術を生かした、ひとつづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む ・本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する									
	課長名	小笠原 圭子		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	676,272 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
						令和元年度当初予算額(B)	190,481 千円		係長	4	人	
						増減額(A-B)	485,791 千円		職員	3	人	
		85,500 千円										

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				東アジア文化都市2020北九州推進事業	「東アジア文化都市2020北九州」の開催に向け、実行委員会を組織し、その後、2020年3月(予定)の開会式開催を皮切りに、1年を通じて様々な文化芸術事業や交流事業を実施する。	2020年の開催に向け、プレ・オープニング事業の実施により、機運醸成を図る。	168,400	430,000	261,600
2	○			創造都市推進事業	文化芸術の力を活用した「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市2020北九州と連携しながら、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進等に取り組む。	東アジア文化都市2020北九州開催とあわせ、文化プログラムを推進していく。	4,000	5,000	1,000
3				文化情報提供事業	文化芸術情報を発信するため、冊子(フリーペーパー)「かるかる」を発行する。	限られた予算を最大限に活用して、効果的、効率的な情報発信に取り組む。	18,081	16,272	-1,809
4		○		<新>「ART for SDGs」推進事業(東アジア文化都市・秋コア期間事業)	アート作品を通じて「SDGs」の17の目標を可視化することで、市民や国内外からの来場者とともに、未来のまちづくりを考えるきっかけとし、その成果を世界に発信する。	2020年の開催に向け、着実に準備を進める。		195,000	195,000
5		○		<新>東アジア文化都市パートナーシップ事業	市民が自ら企画・実施する取組みやイベントに対して、東アジア文化都市2020北九州実行委員会が経費の一部を補助する。	2020年の実施に向け、着実に準備を進める。		30,000	30,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 長崎街道木屋瀬宿記念館		重点項目	地域の伝統文化や文化振興の核になる施設として、機能の充実とともに集客を図る。						
	課長名	宇佐美 健次		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	29,155 千円	人件費	目安の金額	課長
令和元年度当初予算額(B)			36,314 千円			19,000 千円	係長		0	人
増減額(A-B)			-7,159 千円				職員		1	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				長崎街道木屋瀬宿記念館管理運営費	郷土の歴史・文化を学ぶことができる「みちの郷土史料館」と芝居小屋をモチーフとした多目的ホール「こやのせ座」がある。地元の団体が組織される「長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会」と行政が協働で管理・運営を行っている。	開館20周年を記念した企画展を実施する。	14,590	15,831	1,241
2				長崎街道木屋瀬宿記念館管理運営費(公共)		—	10,024	10,024	0
3				長崎街道木屋瀬宿記念館設備改修事業	今後も支障なく施設運営が図れるよう施設整備の改修工事を実施する。	引続き安全な施設運営を維持するため、限られた予算の中で優先順位を考えながら施設整備を行う。	11,700	3,300	-8,400

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 スポーツ振興課		重点項目	スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」市民の増加を目指し、市民参加型スポーツイベント等の実施、オリンピック・パラリンピック等で活躍できるトップアスリートの育成や競技スポーツの支援などに積極的に取り組む。			
	課長名	城戸 健一		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	2,179,757 千円
						令和元年度当初予算額(B)	5,047,082 千円
						増減額(A-B)	-2,867,325 千円
		人件費	目安の金額	課長	3 人		
			212,000 千円	係長	8 人		
				職員	13 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			北九州マラソン開催事業	スポーツの振興やまちのにぎわいづくりなどを図るとともに、本市の魅力在全国に発信するため、「北九州マラソン」を開催する。	より効率的で、安全・快適な大会となるように努めるとともに、参加者(「する人」、「見る人」、「支える人」)それぞれにとって、より満足度の高い大会となるよう取り組みを行う。	92,157	82,543	-9,614
2	○			ホームタウン推進事業	本市をホームタウン・準ホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」、「ボルクバレット北九州」、「福岡ソフトバンクホークス」等の市民親戦事業等を行い、市民がスポーツに親しみきっかけづくりを行う。	市民親戦事業や、体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しみきっかけづくりに取り組む。	63,450	68,450	5,000
3	○			ギラヴァンツ北九州支援事業	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助する。	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。	40,000	35,000	-5,000
4	○			生涯スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催する。	スポーツ関係団体に対する事業費等の助成の見直しを行う。	19,612	18,066	-1,546
5	○			夢・スポーツ振興事業	国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、ジュニア世代がトップアスリート等から直接指導を受ける講習会等を実施する。	—	9,000	9,000	0
6	○			市民体育祭	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図り、健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催する。	市民体育祭総合開会式のあり方を見直す等、より効率的な運営を図る。	6,354	5,245	-1,109
7	○			国際大会・全国大会等スポーツ開催	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	今後もスポーツ大会の誘致を図るとともに、スポーツ大会開催補助の効率的な執行に努める。近年のスポーツ大会開催の増加に伴い、予算を拡充する。	3,000	4,500	1,500
8	○			総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	—	3,182	3,022	-160
9				選抜女子駅伝北九州大会	女子中・長距離の育成、強化を図るとともに、競技をとおして市民の連携意識の高揚とスポーツへの参加意識の喚起を図る。	より魅力的な大会となるよう参加チームの増加を図る等のため、選抜女子駅伝北九州大会実行委員会に対する負担金の交付額を増額する。	16,000	18,000	2,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10			○	ミクスコンサート開催支援事業	ミニワールドスタジアム北九州の多様な形での利用を促進し、まちなぎわいを創出するため、スタジアムで初めてとなるコンサートの開催を支援する。	—	10,000		-10,000
11				「わくわく体験」スポーツ教室	冬季のスポーツ振興の一環として、全小学生を対象とした希望参加型のアイススケート教室の開催等を行い、青少年の健全育成と生涯スポーツの振興に寄与するもの。	アイススケート教室開催回数の見直し等を行い、より効率的・効果的に事業を実施する。	12,900	11,400	-1,500
12				スポーツ大会選手派遣事業	国際大会や全国大会等のスポーツ大会へ出場する選手を支援することで、本市のスポーツ振興や、アスリートの育成を図る。	—	10,242	9,226	-1,016
13				スポーツ強化事業	福岡県民体育大会の派遣及び競技力を向上するために実施する。	—	2,307	2,307	0
14				市民スポーツ賞事業	国際的・全国的なスポーツ競技大会において、優秀な成績を挙げた個人並びに団体で、市民の範となる方を表彰する。	—	941	941	0
15				スポレク振興委託事業	レクリエーション活動のリーダー養成やスポーツ教室を実施することで、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。	—	910	800	-110
16			○	桃園市民プール(室内)整備事業	老朽化が著しく更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50mプールである本施設について、市民の健康づくり、競技大会の開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致等に向けて、新築工事を行う。	—	3,005,648		-3,005,648
17			○	桃園市民プール(室内)整備事業(備品整備)	老朽化が著しく更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50mプールである本施設について、市民の健康づくり、競技大会の開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致等に向けて、備品整備を行う。	—	91,500		-91,500
18				スポーツ施設耐震補強長寿命化事業	北九州市耐震促進計画や市有建築物耐震診断推進連絡会、文部科学省からの通知に基づき、耐震対策を実施する。	令和2年度は城野体育館の耐震補強を行うための補強計画を作成する。	100,800	2,200	-98,600
19				スポーツ施設維持改修事業	対症的な対策が必要である施設のうち、現に施設の利用や運営に支障をきたし、安全性の確保を図ることができないものについて、必要な維持改修を行う。	競技・観戦環境の改善や災害時の対応に向けた改修として、総合体育館の空調工事設計や大型ビジョンの整備、及び新門司球技場管理棟の改修を実施する。	31,000	80,000	49,000
20				スポーツ施設更新事業	老朽化している施設の再整備や設備の更新、修繕を行う。	—	30,542	28,099	-2,443

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
21				スポーツ施設ユニバーサルデザイン化推進事業	高齢者や障害のある人、老若男女を問わず誰もが気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設のユニバーサルデザイン化を促進する。	—	6,700	6,164	-536
22				スポーツ施設予約システム推進	インターネットを活用し、スポーツ施設紹介、施設空き情報の提供、施設の予約等を行う。	—	2,414	2,173	-241
23				スポーツ施設維持管理事業	住民サービスの向上や経費の節減を図ることを目的とし、民間事業者を含めた幅広い団体に公の施設の管理を委託するもの。	スポーツ施設の管理・運営について、引き続き、住民サービスの利便性向上を図るとともに、経費の削減についても取り組んでいく。	1,289,174	1,443,598	154,424
24	○			北九州スタジアム維持管理事業	北九州スタジアムの適切な維持管理・運営を行うことで、「みる」スポーツの機会の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいづくりに取り組む。		103,303	104,251	948
25				北九州スタジアム用地運用事業	民有地に北九州スタジアムを設置しているため、借地料を支払うもの。		52,000	58,300	6,300
26				スポーツ施設整備	スポーツ施設にある備品の修繕や必要物品の購入等を行う。		11,260	11,260	0
27				スポーツ施設AED更新事業	所管のスポーツ施設のうち、2施設のAED及び36施設の付属品の更新を行うもの。		1,400	1,000	-400
28				旧響南中学校スポーツ開放事業	旧響南中学校の格技場及び響南運動場を、施設の有効活用を目的とし、学校施設開放に準じる施設として一般開放する。		1,366	1,366	0
29				北九州市スポーツによるにぎわいづくり基金積立金	平成27年度より募集を開始した北九州スタジアム寄附金(平成28年末で寄附終了)、北九州マラソンスポーツ募金について、市民スポーツの普及及び振興を図り、まちのにぎわいを創出するため、基金へ積み立てるもの。		—	14,004	14,003
30				スポーツ推進委員	地域におけるスポーツ・レクリエーションに関する行事の企画・立案、運営及び実施や生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及などを行うスポーツ推進委員の活動を促進する。	—	7,900	7,900	0
31				管理運営費(スポーツ)	課の一般事務費。	—	6,231	6,628	397

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
32				各種委員会 (スポーツ推進審議会)	スポーツ推進審議会の開催経費。	—	858	658	-200
33				公用車リース経費(ス ポーツ振興業務)	スポーツ振興課所管公用車2台と小倉南区役所コミュニティ支援 課公用車1台のリース経費。	—	588	149	-439
34				公用車リース経費(ス ポーツ振興課)	八幡東区コミュニティ支援課公用車1台と戸畑区役所コミュニティ 支援課公用車1台のリース経費。	—	339	342	3
35		○		<新>スポーツ施設大 型備品整備事業	老朽化・劣化のため大会が開催できないことや安全性の確保が できないことにより、施設の管理運営に支障をきたしている備品に ついて整備する。	ミクニワールドスタジアム北九州の更なる利活用を促進するため、イベント時に使用する芝 生保護材の導入や、本城陸上競技場でのスポーツ大会の運営に必要な備品整備を実施 し、スポーツの振興を通じてまちのにぎわいを創出する。		73,000	73,000
36		○		<新>戸畑D街区関連跡 地活用事業	平成28年11月1日に用途を廃止した戸畑体育館(庭球場含む)に ついて、市有財産利用調整協議会の利用調整の結果、建物解体 後に売却の方向性が示されたため、測量及び解体を実施する。	建物の解体工事、現地測量、動産処分、家屋補償調査等を行う。		52,300	52,300
37		○		<新>スポーツ施設維 持管理(法定点検等)事 業	スポーツ施設における法定点検のうち、建築物点検および全面打 診点検を実施する。	法定点検のうち、建築物点検、全面打診点検等を行う。また、スポーツ施設を計画的 に維持・改修するため個別施設計画を策定する。		16,700	16,700
38		○		<新>次期スポーツ振 興計画策定事業	「北九州市スポーツ振興計画」はスポーツ基本法第10条に定め られた、地方スポーツ推進計画である。現計画の計画期間は平 成23年9月から令和2年度までであるため、計画の見直しを行 う。	スポーツ推進審議会での審議を踏まえ、スポーツ振興計画の見直しを行う。		1,000	1,000
39		○		<新>公用車リース経費 (小倉南区スポーツ振興 業務)	小倉南区役所コミュニティ支援課公用車1台のリース経費。	—		166	166

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 国際スポーツ大会推進室		重点項目	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地や国際スポーツ大会等の誘致に向け、戦略的なプロモーション事業を展開する。							
	課長名	藤本 将志		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	179,500 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
						令和元年度当初予算額(B)	171,700 千円		係長	3 人	
						増減額(A-B)	7,800 千円		職員	3 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			大規模国際スポーツ大会等誘致事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致や国際スポーツ大会等の誘致について、スポーツによるまちの活性化を図るため、各種事業を展開する。	引き続き国際スポーツ大会の誘致活動に取組むとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運醸成を図る。	30,000	20,000	-10,000
2		○		なでしこジャパン国際親善試合開催事業	本市では初となる女子サッカー日本代表(なでしこジャパン)の国際親善試合について本市で受入れを行う。	—	15,000		-15,000
3	○			東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等実施事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを契機としてスポーツ振興を図り、スポーツを通じた国際交流やオリンピック・ムーブメントの推進等に積極的に取り組んでいく。	2020年東京オリンピック・パラリンピック本番の年を迎え、誘致決定国のキャンプ実施等を行い、まちの知名度向上やシビックプライドの醸成を行う。	50,000	92,000	42,000
4		○		大規模スポーツ大会開催のためのスポーツ備品整備事業	キャンプ地誘致活動等が本格化する中、他の自治体よりも誘致活動を優位に進めるためスポーツ施設に国際規格の備品を整備する。	—	2,700		-2,700
5		○		ワールドラグビー女子セブンズ開催事業	平成29年4月に北九州スタジアムにおいて日本初開催となった「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ日本大会」について、平成29、30年度に続き3年連続で本市で受入れを行う。	—	13,000		-13,000
6		○		ラグビーW杯ウェールズ交流プログラム推進事業	RWC2019においてウェールズ代表が本市でキャンプを実施することに関連し、ウェールズラグビー協会とともに地域的な関心の高まりと機運醸成を目的とした各種交流プログラム等を実施する。	—	11,000		-11,000
7		○		ラグビーW杯ウェールズキャンプ受入事業	RWC2019において本市でキャンプを実施することが決定しているウェールズ代表チームの受入等を行う。	—	50,000		-50,000
8	○	○		<新>東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー関連事業	令和2年5月13日に本市で実施される東京2020オリンピック聖火リレー及びセレブレーション並びにパラリンピック聖火に向けた機運向上やスポーツの振興、まちのにぎわいづくりを図り、市民の記憶に残る聖火リレーを実現する。	本市での聖火リレーの実施が市民のシビックプライドの醸成に寄与するよう、広報・PRや都市装飾等の機運醸成とともに本市の特色を生かした聖火リレーやセレブレーションを実施する。		55,000	55,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
9	○	○		<新>卓球ジャパンオープン荻村杯北九州大会	国内最高峰の国際大会となるプラチナ大会としての成功と、卓球ワールドカップや世界卓球を見据えた誘致に向けて、キーマンの招聘や効果的なPRを行い、積極的な誘致活動を展開するもの。	スポーツの「みる」機会の創出と市民のスポーツへの関心や意欲を高める。		7,500	7,500
10	○	○		<新>ウェールズレガシープログラム推進事業	RWC2019を通じて深まった本市とウェールズとの交流を一過性のものではなく、まちの活性化や本市とウェールズのさらなる友好や進展を図るもの。	RWC2019までに培われたウェールズとの関係性を一層深めるため、交流の内容や方法がより効果的なものになるよう検討する。		5,000	5,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心推進課		重点項目 ・安全・安心条例に基づき策定した行動計画に沿って、「日本トップクラスの安全なまち」及び「誰もが安心を実感できるまち」を目指して、さまざまな事業を総合的、継続的に推進する。								
	課長名	日々谷 健司		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	49,113 千円	人件費	目安の金額	課長	0.5 人
						令和元年度当初予算額(B)	84,343 千円		係長	1.5 人	
						増減額(A-B)	-35,230 千円		職員	4 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				生活安全パトロール隊活動支援事業	本市の生活安全パトロール隊は、平成16年度より、安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動等の自主防犯活動を実施している。結成当初支給した支援物品が10年を経過し、更新時期を迎えていることから、活動に必要な物品を生活安全パトロール隊へ支給するもの。	引き続き、予算の範囲内で物品支援を実施していく。	1,717	994	-723
2	○			北九州市安全・安心条例行動計画推進事業	市民・事業者・行政(教育機関含む)が、本市の新たな「安全・安心まちづくり」を共に考え、一丸となって取り組めるよう、「北九州市安全・安心条例」の制定趣旨・目的等について理解を深める啓発事業等を実施するもの。また、その取り組みの成果を内外に発信するもの。	令和2年度からスタートする第二次行動計画の目標を達成するため、各取組みを推進していく。 学生防犯ボランティアとの事業の必要経費を見直し、業務を効率的に行う。	7,515	5,015	-2,500
3	○			子どもと女性の「防犯力アップ」推進事業	「地域安全マップづくり」や「安全セミナー」を通じて、子どもの防犯意識や危険回避能力の向上を図る。 また、防犯の専門家による体験型セミナーを通じて、性犯罪の実態や防犯対策を学ぶことで、女性の防犯意識の向上を図る。	引き続き、事業を継続するとともに、マップづくり等の1回あたりに必要な経費を見直すなど、事業の効率化を図った。	4,023	3,087	-936
4	○			地域防犯対策事業	安全・安心条例に基づき、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	引き続き、市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	28,725	28,749	24
5				防犯活動支援補助事業	本市における地域の防犯活動を推進している各警察署内の防犯協会等に対し、財政的な支援を行う。	引き続き、予算の範囲内で財政支援を実施していく。	5,130	5,130	0
6				安全・安心課一般管理	安全・安心推進部(消費生活センター除く)の管理運営に係る経費である。	—	2,221	1,814	-407
7	○			安全・安心イメージアップ推進事業	市内外での「安全・安心なまち北九州」PR活動を行うことで、市全体のイメージの向上を図る。	首都圏で開催されるイベントにおいて「安全・安心なまち北九州」をPRし、引き続き本市のイメージアップを図る。	1,500	1,500	0
8	○			安全・安心まちづくり市民大会事業	安全・安心に関して活動する様々な団体が情報交換や交流を行い、「安全・安心活動の輪」を広げ、意識の高揚を図るため、「安全・安心まちづくり市民大会」を開催する。	自主防犯活動団体の活動を促進するため、安全・安心市民大会の中で団体の永年活動表彰を実施しているが、令和元年度に該当がなかった記念品交付団体が、令和2年度は66団体が対象となるため、予算を増額した。	512	824	312
9		○		朽網交番移転に伴う施設整備事業	安全・安心条例に基づき、安全・安心なまちづくりを推進するために必要な施設の整備を行う。	事業完了に伴う廃止。	33,000		-33,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10		○		<新>繁華街客引き行為等調査研究事業	居酒屋等の従業員や客引き専門業者の一部が道路の中央にたむろして、通行人の妨げとなる等の弊害が生じていることから、本市繁華街の実態を調査し、現状を把握するとともに、他の条例施行市における状況等を研究することで、本市における客引き行為等の適正化対策として最良の方法を検討する。	繁華街の実態調査や他の条例施行市における状況等を調査・研究する。		2,000	2,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心都市整備課		重点項目 ・安全で安心な都市環境の整備を行うことにより、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。 ・交通事故のない環境を創出し、事故のない安全で安心なまちづくりを推進する。 ・市民等のモラル・マナーの向上を図り、迷惑行為のない快適な生活環境を創出する。							
	課長名	矢野 裕子		令和2年度当初予算額(A)	218,297 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和元年度当初予算額(B)	222,005 千円		係長	2	人	
				増減額(A-B)	-3,708 千円		職員	3	人	
コスト	事業費	54,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			防犯カメラ運用事業	犯罪の抑止効果と都市の安全確保のため設置した防犯カメラの適切な管理運用を行う。	安全・安心な市民生活を確保し、犯罪に強い都市づくりを推進するため、引き続き街頭防犯カメラの運用を適正に行うもの。	45,098	39,911	-5,187
2	○	○		<新>防犯カメラ事業	近年開発が進む駅周辺など、にぎわいが増す地域の安全・安心についても確保するため、防犯カメラの設置と運用を行う。	近年開発が進む駅周辺など、にぎわいが増す地域に防犯カメラの設置と運用を行うもの。		6,700	6,700
3	○			防犯カメラ設置補助事業	地域団体や事業者が設置する、公共空間を撮影する防犯カメラの設置経費の一部を補助する。	地域の防犯活動支援のため、引き続き補助を行う。	13,800	12,650	-1,150
4				繁華街における安全・安心施設運営事業	暴力追放と街頭犯罪抑止のため、繁華街における防犯カメラの設置費用を助成する。	引き続き暴力追放と街頭犯罪抑止のため、繁華街における防犯カメラの設置費用を助成する。	50	50	0
5				繁華街における安全・安心施設運営事業(公共)	繁華街の安全・安心を確保するため、堺町安全・安心センターの管理運営等を行う。	引き続き小倉北区繁華街における暴力追放運動の拠点施設である「堺町安全・安心センター」の管理運営を適正に行う。	413	413	0
6	○			通学路防犯灯事業	通学路において、市によるLED防犯灯の設置を行い、通学路の夜間の安全確保に取り組む。	通学路を対象とした新たな防犯灯設置基準を定めるなど、自助、共助、公助の役割分担を基本とした通学路の防犯灯の充実策に取り組む。	9,500	9,500	0
7			○	街灯の管理(建替)	老朽化した街灯の建て替えを行う。	防犯灯設置事業へ統合。	824		-824
8			○	街灯の管理(維持)	街灯の維持管理に要する経費とする。	防犯灯維持管理事業へ統合。	12,932		-12,932
9	○			防犯灯設置事業	夜間における犯罪の発生を防止するため、LED防犯灯を設置し、安心して生活できるまちづくりを促進する。	夜間における犯罪の発生を防止し公衆の通行の安全を図るため、LED化を進める。(R2年度より街灯の管理(建替)を統合)	33,360	31,239	-2,121
10	○			防犯灯設置補助事業	LED防犯灯の設置促進を図るため、防犯灯を設置する団体(自治連合会、未加入団体)に対して、費用の一部を補助する。	防犯灯を設置する自治会・町内会の属する連合会及び未加入団体に対して設置費用の一部を補助し、LED防犯灯の設置促進を図る。	3,185	3,185	0
11				防犯灯維持管理事業(公共)	市設置防犯灯の維持管理を行う。	設置済みの防犯灯について、その維持管理を確実にを行う。(R2年度より、街灯の管理(維持)を統合)	18,025	30,957	12,932

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				防犯灯維持管理補助事業	町内会等で設置する防犯灯の経費(電気代等)を補助する。	引き続き、町内会等が設置している防犯灯(約54,000灯)の電気料等の経費を補助する。	3,710	3,485	-225
13				防犯灯安全管理事業	市で設置した防犯灯(独立灯)の安全点検を実施する。	市が設置した防犯灯約15,000灯のうち独立灯について、老朽化に伴う事故等を防止するため、計画的に安全点検を実施する。	2,500	3,050	550
14	○			交通安全センター管理運営事業	北九州市立交通安全センターの管理運営及び交通公園内外における交通安全教室の実施等を交通安全教育に精通した事業者へ委託する。	引き続き、交通公園での交通安全教室(子どもの交通安全、自転車、高齢運転者など)での交通事故防止を図る。	27,767	27,881	114
15				交通安全施設整備事業	通学路に「文」マークを設置し、通学路での児童の登下校の安全を確保する。	引き続き、交通安全運動での教育や広報啓発などを実施し、交通事故防止を図る。また、令和2年度は、高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を図るため、既存事業(交通安全推進事業)で実施中の自主返納支援への取組について拡充を図る。	1,600	1,470	-130
16			交通安全推進団体補助金	交通安全推進団体の自主的な活動を促進するため、活動を助成する。	7,476		7,476	0	
17	○		交通安全推進事業	第9次北九州市交通安全計画に基づき、交通安全教育及び広報啓発活動を実施し、交通安全思想の普及および交通事故の防止を図る。	15,245		14,010	-1,235	
18		○	<新>高齢者運転免許証自主返納支援事業	高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を図るため、現在既存事業で実施中の自主返納支援への取組の拡充を図る。			1,500	1,500	
19			交通安全管理運営費(公共)	交通安全センター施設修繕及び維持補修費	310		310	0	
20				山九交通遺児奨学金	高等学校等に在学する交通遺児に対して、返還を要しない奨学金を給付し、修学を支援する。	引き続き、生徒や保護者、学校などに対して市政だよりなどにより、本奨学金制度の周知を図る。	3,526	3,527	1
21				交通安全対策事業推進基金積立金	交通安全対策事業推進基金利子を同基金へ積み立てる。	交通安全対策事業推進基金利子を同基金へ積み立てる。	12	11	-1
22	○			モラル・マナーアップ関連条例推進事業	小倉・黒崎地区を迷惑行為防止重点地区に指定し、4つの迷惑行為を対象に過料を適用することにより、迷惑行為のない快適な生活環境の確保を図る。	引き続き、重点地区(小倉都心、黒崎副都心地区)において巡視活動を実施する。	19,509	18,127	-1,382
23				迷惑行為をしない・させない人づくり事業	各年代に応じた内容のモラル・マナーアップ教育を進めるとともに、迷惑行為防止に向けた様々な市民活動への参加意欲を高め、活動の活発化を図るため、教育教材や啓発物品の提供等を行う。	学校、地域団体、NPO、企業等に対して、周知を行う。	3,163	2,845	-318

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター		重点項目 ・事業者や市民が警察・行政とともに一丸となって、暴力追放に取組める環境を目指す。 ・交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者支援などの相談窓口に加え、市民の安全・安心にかかる相談を受け、市民サービスの向上を図る。								
	課長名	日々谷 健司		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	50,486 千円	人件費	目安の金額	課長	0.5 人
					令和元年度当初予算額(B)	55,153 千円	係長		0.5 人		
					増減額(A-B)	-4,667 千円	職員		1 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			暴力追放啓発推進事業	市民等が暴力団排除の重要性についての認識を深め、暴力団排除のための活動に自主的に取組むことができるよう広報及び啓発に関する取組みを実施する。	警察・行政・市民とが連携・協力し、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えるとともに、暴力追放に対する市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、警察などの関係機関と連携した暴追活動を引き続き行う。 相談体制を見直し、より効率的で効果的な運用を図る。	3,453	3,832	379
2	○			暴力追放運動推進補助事業	「北九州市暴力追放推進会議」や各区暴力追放活動推進団体及び「(公財)福岡県暴力追放運動推進センター」に対し、活動経費などの補助金を交付する。		2,767	2,767	0
3	○			暴力団事務所撤去運動支援事業	市民等による暴力団排除の自主的な取組を支援し、社会全体での暴力団排除機運を更に高め、浸透させていくため、福岡県の制度と連携して、暴力団事務所として事務所を使わせないための市民運動・住民訴訟等の実施費用を補助する。		6,000	6,000	0
4	○			民事介入暴力相談事業	民事介入暴力相談員を配置し、民事介入暴力等の相談に応じ、相談者の問題解決を図る。		21,394	16,365	-5,029
5	○			安全・安心総合相談ダイヤル事業	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受けける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。		1,557	1,588	31
6	○			生活環境パトロール事業	市民の安全で快適な生活環境を確保するため、道路などを定期的にパトロールするとともに、市民等からの情報提供に迅速な対応を行う。		17,298	17,250	-48
7				犯罪被害者等支援事業	「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」及び「性暴力被害者支援センター・ふくおか」の運営費の一部負担を行うことで、犯罪被害者支援施策の充実を図る。		2,684	2,684	0

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 消費生活センター		重点項目	消費者トラブルの解決支援、消費者被害の未然防止に努める。 自立した消費者の育成に努める。 計量行政の円滑な推進に努める。						
課長名	川原 泉	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	127,428 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和元年度当初予算額(B)	130,971 千円		109,000 千円	係長	3	人
				増減額(A-B)	-3,543 千円			職員	9	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				消費生活センター 相談業務推進事業	消費者トラブルの解決支援のため、専門の資格を有する消費生活相談員による相談対応・情報収集等を行う。	相談体制の見直し	73,847	67,490	-6,357
2	○			消費者被害防止体制整備	消費者被害の未然防止及び消費者トラブルの解決支援のため、消費生活審議会や、専門家による相談会を開催する。	消費生活審議会、専門家による協議会の継続	1,130	1,120	-10
3			○	消費者団体活動の育成	北九州市消費問題婦人協議会に事業を委託し、団体の活動を通して消費者への啓発及び消費者教育を推進する。	—	3,000		-3,000
4	○			消費者行政推進事業	「福岡県消費者行政推進事業補助金」を活用し、消費者被害の未然防止及び自立した消費者の育成のための各種事業を実施する。	事業を見直し、より効率化を図る。	16,000	14,400	-1,600
5				計量一般事務	適正な計量の実施を確保するため、計量法に定められている特定計量器定期検査などの検査業務を実施するための経費	業務を見直し、より効率化を図る。	18,611	22,566	3,955
6				計量一般事務(公共)	計量法で定められた特定計量器の、検査、商品量目立入検査等に使用する質量比較器等を適切に管理保全するもの。	計量検査所庁舎を適切に管理保全する。	4,651	4,737	86
7				消費生活センター運営	消費生活センター所管の施設及び相談窓口の管理運営に係る経費(計量検査所を除く)	消費生活センター所管の施設及び相談窓口の管理運営を適正に行う。	4,616	4,999	383
8				消費生活センター運営 (公共)	消費生活センター施設管理に必要な経費(計量検査所を除く)	消費生活センターの施設管理を適正に行う。	5,116	5,116	0
9			○	恒温室空調設備等更新 事業	計量検査所恒温室の室内条件を適法にするために必要な自動制御設備の更新を行う。	—	4,000		-4,000
10		○		<新>消費生活相談体制維持強化事業	消費生活相談員の処遇を、資格者の希少性や職務の困難性を鑑み、他都市の状況や本市の他の資格職種を勘案して、応分なものに改善し、相談体制の維持強化を図る。	消費生活相談員の処遇等を改善し、相談体制の維持強化を図る。		7,000	7,000

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 美術館 普及課・学芸課		重点項目 ・企画展、コレクション展を充実させ、本市の文化発信拠点としての機能を果たすことにより、「市民の生活に潤いと豊かさを創出し、地域とともに成長していく美術館」の実現を目指す。 ・美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」の対象者を、2018年度から市内全公立小学校3年生に拡充し、子どもたちのシビックプライドの醸成をはかっている。								
	課長名	鐘ヶ江 祐二 西村 勇晴		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	320,289 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
		令和元年度当初予算額(B)		322,069 千円	101,500 千円	係長	3 人				
		増減額(A-B)		-1,780 千円		職員	8 人				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				美術品購入事業	美術作品を購入するための経費	所蔵品の充実を図る。	4,692	4,316	-376
2				美術館所蔵作品修復事業	所蔵する美術作品を修復するための経費	貴重な所蔵作品の中には、「剥離、カビ、破損」などの損傷が見られるため、修復を実施。	827	744	-83
3				美術品取得基金	美術作品を購入する事を目的とした美術品取得基金の利息分の費用(新たな積立はなし)	美術品の「円滑かつ効率的」な購入を推進するため、「北九州市美術品取得基金」への積立を行う。	10	10	0
4	○			美術館企画展	美術館の企画展を開催するための経費	多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	108,184	107,444	-740
5	○			美術館コレクション展	美術館コレクション展を開催するための経費	コレクション展(常設展)を充実させるため、明確なテーマを掲げた開催を行うとともに、公開講演会を実施し、広く市民に美術の魅力を伝える。	3,823	3,823	0
6	○			美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」	市内の小学3年生を対象に、リニューアル後の美術館を舞台に美術鑑賞プログラムを実施する。	平成30年度より、市内小学3年生全員(約8千人)を対象にした「初めての美術館体験」をコンセプトにした美術鑑賞プログラムを実施。令和2年度継続実施。	33,199	29,879	-3,320
7				美術館教育普及事業	小中学生や市民が美術作品に触れる機会を創出するために実施するワークショップ、市内の小・中学生を対象としたたんけんバスポート事業の実施	市民への教育普及活動の充実や学校教育と連携した事業を実施する。	2,192	1,972	-220
8				美術館管理運営事業	美術館の管理運営に係る経費	施設維持管理・保守及び情報収集・交換など美術館の適正な管理運営を図る。	162,848	162,848	0
9				美術館施設改修	美術館の建物・設備の維持補修に必要な経費	老朽化した美術館施設(大規模修繕工事対象外部分)の改修を随時行う。	5,587	6,640	1,053
10		○		<新>美術館搬入エレベーター更新工事	美術館の収蔵品・展示品の搬入搬出、移動に使用する大型貨物エレベーターの更新工事に要する経費	令和2年度に実施設計を行いながら、工事の実施時期や工程を検討し、令和3年度に工事を実施する。		1,900	1,900
11				美術館シャトルバスリース	美術館シャトルバス運行に必要なマイクロバス1台のリース料	車両リース期間:平成29年10月から令和4年9月まで。 債務負担行為(平成30年度～令和4年度)		707	713

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 自然史・歴史博物館 普及課・自然史課・歴史課		重点項目	魅力的で集客力のある特別展の開催、集客の柱である団体客の誘致に取り組み、地域の賑わいの拠点施設としての魅力向上や更なる学術・文化の発展、教育普及活動の充実を図る。			
	課長名	福岡 賢司 真鍋 徹 日比野 利信		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	332,904 千円
						令和元年度当初予算額(B)	325,027 千円
						増減額(A-B)	7,877 千円
		人件費	目安の金額		課長 3 人		
			222,000 千円		係長 6 人		
					職員 17 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			博物館企画展・特別展開催事業	調査研究や資料収集の成果を元に魅力ある特別展を開催することで集客を図り、地域の賑わいの拠点施設を目指すとともに市民文化の創造に寄与する。	集客力のある夏期の大規模展覧会や東田地区ミュージアムパーク創造事業の一環として行う東田地区3館連携事業、Art for SDGsとの連携など、時機を捉えた企画を特別展として開催することで、メディアの露出やタイアップの獲得を図り、効果的な集客につなげる。特別展の開催にあたり、外部資金(民間出資金)の獲得を図る。常設展の目玉である「エンバイラマ館」の更新を行い、魅力の向上・インバウンド対応により集客力の増強を図る。なお、更新は3年間で実施しており、年ごとに更新する対象・内容が異なるため、所要額は一定ではなく、年ごとに増減する。	17,922	20,000	2,078
2	○		いのちのたび博物館大規模特別展開催事業				32,000	40,000	8,000
3			いのちのたび博物館魅力向上・インバウンド対応事業	人気展示である「エンバイラマ館」の演出機器の更新を行い、さらにWi-Fi環境を整備する。平成30年～令和2年度(3年間)を事業期間とする。			19,000	11,000	-8,000
4	○		博物館セカンドスクール事業	博物館を第二の学校とし、子どもたちの理科・社会科への学習意欲の向上を図る。	社会科見学や校外学習などによる博物館利用をさらに促進し、第二の学校としての機能や役割の向上を図るため、学校団体の誘致活動を推進する。限られた予算の中で、効果的な資料の収集・整備に努めるとともに、着実な研究活動を行うことで効率的な施設運営を行う。本市の誇るべき地質遺産の保全や環境学習の推進、集客の拡大につなげるため、着実にジオパーク活動を推進する。	1,487	1,339	-148	
5			ジオパーク活動推進事業	日本ジオパーク認定に向け、本市のジオパーク活動の活性化及び普及活動を図る。		1,427	1,285	-142	
6			博物館教育普及事業	博物館講座・教室の開催により本市の学術文化の発展に資する。		1,083	975	-108	
7			博物館資料収集・調査研究事業	学芸員の調査・研究を支援し、個々の資質向上を図る。また、資料収集により、展示の充実や調査研究に役立てる。		4,947	4,749	-198	
8			博物館既存資料整備事業	保有する資料の中で、寄贈・寄託等による未整理・未修復の資料を展示可能な状態に整備する。		6,825	7,779	954	
9		○	「小倉城と城下町の歴史(仮)」出版事業	小倉城・城下町の歴史を掘り起こし、わかりやすく提示する書籍を出版することで、市民等の知識と関心を高め、文化・観光資源として小倉城の価値を高める。		6,000		-6,000	
10		○	東アジア友好博物館交流事業	韓国の仁川広域市博物館、中国大連市の旅順博物館との3館で会議や研究会、所蔵品を紹介する巡回展を実施し、国際文化交流の推進を図る。	1,800		-1,800		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				博物館維持管理費	博物館の施設維持管理に係る経費	限られた予算の中で、今後も安定的に安全、安心な施設を維持できるよう管理を進めながら、効率的な施設運営を行う。	228,477	228,579	102
12			博物館運営事業費	施設維持管理以外の管理運営に係る経費	3,943		4,100	157	
13			博物館公用車更新リース 化事業	軽公用車の更新及びリース化	116		198	82	
14		○		<新>博物館長寿命化 に向けた修繕補修事業	今後も安定的に安心、安全な施設であり続けるために予防保全 の観点で不具合を修繕補修し、施設の長寿命化を進める。	限られた予算の中で、今後も安定的に安全、安心な施設を維持できるよう管理を進めながら、効率的な施設運営を行う。		7,200	7,200
15		○		<新>博物館ネットワー ク機器更新	現在稼働している博物館ネットワークの機器の交換、クラウドサー ビスを活用したグループウェアへの移行などを進め、システムの 安定稼働や利便性の向上、保守経費の抑制を行うもの。			5,700	5,700

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 松本清張記念館事務局		重点項目	2016年に改訂した「北九州市文化振興計画」を推進し、松本清張の偉大な業績を称え、後世に継承していくことにより、「芸術・文化によるまちづくり」に努める。この目標に沿った事業を展開し、清張文学の資料を収集し、研究するとともに、市内外に情報発信し本市のイメージアップを図る。							
	課長名	在間 順一		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	79,622 千円	目安の金額	課長	1 人	
						令和元年度当初予算額(B)	81,584 千円		51,500 千円	係長	1 人
						増減額(A-B)	-1,962 千円			職員	4 人
		人件費									

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			松本清張記念館普及事業	①企画展(年1回)の開催 ②講演会・読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業	年1回の企画展について、より魅力的な内容をテーマに据えると同時に、関連する講演会や催しを開催して一層の集客に努める。	6,283	9,289	3,006
2	○			松本清張記念館研究センター事業	①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業 ②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業 ③研究誌発行事業	今後一層松本清張とその作品の研究を行うとともに、その成果を研究発表会や研究誌の発行により、市内外への情報発信に努めていく。	5,072	5,053	-19
3				松本清張記念館管理運営費	館の管理運営に関する経費	—	20,055	17,671	-2,384
4				松本清張記念館管理運営費(公共施設)	館の維持修繕、管理等に関する経費	—	29,674	30,609	935
5				松本清張記念館施設整備事業	電気系統の老朽化に伴い、機器の更新等を行う経費	設備の経年劣化が進むなか、故障時に重大な影響を及ぼす空調制御装置のうち、第2期として令和2年度はリモートユニット更新工事を行う。(第1期:令和元年度中央監視装置の更新工事)	17,000	17,000	0
6		○		松本清張記念館魅力向上事業	松本清張生誕110年を記念して、2018年度に調査を行った魅力向上調査に基づき、記念館の中庭のリニューアル等を行うことで、市民をはじめ、より多くの方に清張の人と作品に触れる機会をつくる。記念館の魅力向上を図ることにより、「文学の街・北九州」を市内外に発信するもの。	—	3,500		-3,500

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文学館事務局		重点項目	・北九州市ゆかりの優れた文学者に関する資料の保存・収集及び調査研究の充実を図り、情報を発信することにより市民の誇りを醸成する。 ・多くの市民が文学に親しむ機会を拡大するため、企画展や講演会、文学講座の開催、文庫本の発行等の普及事業を実施する。 ・文学賞等を実施することにより、幅広い年齢層の文学界人材育成を目指す。		
課長名	田中 直子	コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	81,154 千円	目安の金額 59,000 千円 課長 1 人 係長 1 人 職員 5 人
				令和元年度当初予算額(B)	70,572 千円	
				増減額(A-B)	10,582 千円	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			文学館普及研究費	企画展の開催や、各種講座、研究事業等を実施する。	北九州ゆかりの文学者の調査研究の充実を図るとともに、リニューアルした常設展示や魅力ある企画展の開催等により、入館者の増加を図る。補助金の充当を予定し、委託料などの見直しにより、予算増となった。	17,132	26,821	9,689
2				文学館管理運営費	文学館の管理運営に係る経費	—	8,067	9,177	1,110
3				文学館管理運営費(公共)	文学館の維持管理等に係る経費	—	16,220	16,220	0
4	○			林芙美子文学賞	「林芙美子文学賞」に関する経費	作家として書き続けていくことのできる力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ち着きつつある。受賞者のその後の活躍も紹介するなど、広報の充実に努める。	12,277	11,630	-647
5	○			子どもノンフィクション文学賞	「子どもノンフィクション文学賞」に関する経費	小中学生、学校関係者などへの積極的なPRを展開し、認知度向上を図り、応募数の増加に努める。	10,802	10,731	-71
6				文学館文庫発行事業	絶版等で入手困難な北九州ゆかりの作家の文庫本を発行し、「文学の街 北九州」の全国への発信と、本市の文化振興を図る。	企画展、東アジア文化都市関連イベントに注力するため、文庫発行数を1冊とした。	1,000	1,000	0
7			○	北九州市立文学館展示リニューアル事業	「北九州市立文学館展示リニューアル基本計画」に基づき、令和2年のリニューアルオープンに向け、工事を実施	—	0		0
8				文学館電話交換機等設置	電話交換機等の交換作業を行う。	—	74	75	1
9			○	宗左近生誕100年記念事業	北九州ゆかりの詩人・宗左近の生誕100年を記念した各種イベント等を実施する。	—	5,000		-5,000
10		○		<新>文学館整備事業	施設の老朽化に伴う補修の実施設計・工事に関する経費	—		5,500	5,500

令和2年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 漫画ミュージアム事務局		重点項目	・漫画文化の振興を図るため、「見る」、「読む」、「描く」の3つのテーマに沿った魅力ある事業を実施する。 ・漫画の魅力・ポテンシャルを海外へ発信するとともに、海外インバウンドの強化を図る。 ・北九州スタジアムの完成や、都市集客アクションプランを踏まえ小倉駅新幹線口地区の賑わいを創出する。									
	課長名	中原田 香織		コスト	事業費	令和2年度当初予算額(A)	199,291 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人	
						令和元年度当初予算額(B)	200,647 千円		44,000 千円	係長	1	人	
					増減額(A-B)	-1,356 千円	職員					3	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和2年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和元年度 当初予算額 (千円)	令和2年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			北九州国際漫画大賞	漫画の持つ魅力・ポテンシャルを国内外に向けて広く発信し、漫画文化の普及を図るため、北九州国際漫画大賞(漫画のコンテスト)を実施する。	国内外でのPRを積極的に行っていく。また、未来の漫画家を輩出できる取り組みを考えていく。	7,000	6,500	-500
2	○			日中韓新人MANGA選手権	漫画文化の普及・振興を図るため、漫画家を志す新人クリエイターの発掘、国際的な活躍への支援を行う日中韓新人MANGA選手権(3か国持ち回り)を本市で開催する。	交流の促進と競争による人材育成を両立できる方法を検討し、令和2年度の韓国開催への準備を行った。	5,000	4,500	-500
3	○			漫画ミュージアム普及事業	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	新規来館者及び固定客の増加に向けての魅力ある展示会の実施、イベントでのPR活動を実施し、普及を図った。	54,379	54,023	-356
4				漫画ミュージアム管理運営費	一般事務費	-	134,268	134,268	0